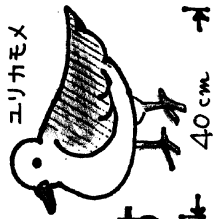


美川自然クワース

H・17 3月号
でーす



「美川自然クワース」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

2月20日（日）午前9時より 手取川河口にて、美川自然クワースによる「手取川探鳥会」が行われました。

曇り空ながら風が強くなりましたが、20種近くの野鳥をみる事ができました。

フィールドコースや双筒鏡をのぞくと、波打つ河面に浮かぶ かわいらしい鳥の姿が見え、「この園の中、鳥たちは暮らさないのかなぁ～」というのが正直な感想でした。

自然クワースの横道松彦さんに、鳥の見分け方や特徴など、いろいろ説明をしていただき有意義な時間を過ごしました。

今月は、野鳥観察をする時に知っていると便利なことについて・・・

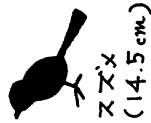


「ものさし鳥」ってなに？

鳥をみつけたら、まず大きさはどれくらいか よく知っているスズ

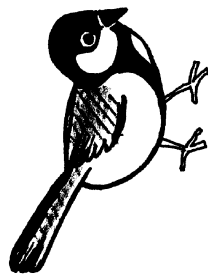
メ、ムクドリ、ハト、カラス、トビなどと大きさを比べてみて見当

をつけます。このように調べる時の目安にする鳥を「ものさし鳥」といいます。



「フィールドマーク」ってなに？

およその大きさがわかっただら、次は目立つ特徴が有るか確かめてみます。



たとえばシジュウカラ

白い頬、喉から腹への黒いネクタイの

ような黒い帯

なんの鳥かを見分ける目印になるものを「フィールドマーク」とい

います。

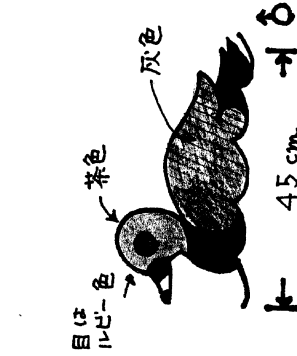


手取川で見られた鳥の中より・・・（冬鳥）



40 cm → ♂

キンクロハジロ（金黒羽白）



45 cm → ♂

ホシハジロ（星羽白）



50 cm → ♂

ハシロガモ（嘴広鴨）

まず ♂ オスがモから憶えましょう。オスがモはそれぞれ特徴ある羽色をしていて鑑別も簡単です。